

商品名 カルテオロール塩酸塩錠5mg「ツルハラ」 医薬品基本情報

薬効	2123 β-遮断剤	一般名	カルテオロール塩酸塩5mg錠
英名	Carteolol hydrochloride TSURUHARA	剤型	錠
薬価	6.10	規格	5mg 1錠
メーカー	鶴原製薬	毒劇区分	

カルテオロール塩酸塩錠5mg「ツルハラ」の効能・効果

本態性高血圧症＜軽症～中等症＞、心臓神経症、上室性期外収縮、心室性期外収縮、洞性頻脈、頻脈型不整脈、不整脈、狭心症

カルテオロール塩酸塩錠5mg「ツルハラ」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、気管支痙攣又はその恐れ・疑い、気管支喘息又はその恐れ・疑い、代謝性アシドーシス、糖尿病性ケトアシドーシス、著しい洞性徐脈、洞不全症候群、洞房ブロック、高度徐脈、房室ブロック＜2・3度＞、心原性ショック、肺高血圧による右心不全、うっ血性心不全、低血圧症、未治療の褐色細胞腫、未治療のバラガングリオーマ	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 手術前24時間	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	希望禁止
3. うっ血性心不全又はその恐れ・疑い	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
4. 褐色細胞腫、バラガングリオーマ	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
5. コントロール不十分な糖尿病、長期間絶食状態、特発性低血糖症、徐脈、房室ブロック＜1度＞、間欠性跛行症、末梢循環障害、レイノー症候群、甲状腺中毒症、異型狭心症、褐色細胞腫、バラガングリオーマ、重篤な腎機能障害、重篤な肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

カルテオロール塩酸塩錠5mg「ツルハラ」の副作用等

1. 房室ブロック、洞不全症候群、洞房ブロック、洞停止、徐脈性不整脈、冠攣縮性狭心症	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2. 高度徐脈、失神

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

3. うっ血性心不全、うっ血性心不全悪化

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

4. 口内炎、霧視、涙液分泌減少、AST上昇、ALT上昇、LDH上昇、筋肉痛、血糖値低下、総コレステロール値上昇、手足のしびれ、下肢冷感、発汗、腓腸筋痙攣、こむらがえり、血清CK値上昇

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

5. めまい、ふらつき、立ちくらみ、徐脈、動悸、息切れ、低血圧、頭痛、頭重感、眠気、不眠、振戦、抑うつ感、腹部不快感、嘔気、下痢、腹痛、便秘、呼吸困難、咳、痰、過敏症、皮疹、倦怠感、脱力感、浮腫、ほてり、疲労感

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

6. 胸痛、耳鳴、不安感、悪夢、耳の蟻走感、食欲不振、鼓腸、喘息様症状、上気道閉塞感、目がしょぼつく、皮膚そう痒感、頻尿

記載場所	その他の副作用
頻度	0.1%未満

7. 心筋収縮力の抑制を増強、徐脈、低血圧、症状が悪化、心筋梗塞、低血糖症状、意識障害、痙攣、脳梗塞、完全房室ブロック、心不全、気管支痙攣、他の薬剤によるアナフィラキシー反応がより重篤

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

カルテオロール塩酸塩錠5mg「ツルハラ」の相互作用

1. 薬剤名等：交感神経系に対し抑制的に作用する他の薬剤

発現事象	過剰の交感神経抑制	投与条件	-
理由・原因	相加的に交感神経抑制作用を増強	指示	慎重投与

2. 薬剤名等：血糖降下剤

発現事象	血糖降下作用が増強、低血糖症状＜頻脈・発汗等＞をマスク	投与条件	-
理由・原因	低血糖に伴う交感神経系の症状をマスク、 β 遮断作用により低血糖の回復を遅れさせる	指示	注意

3. 薬剤名等：カルシウム拮抗剤

発現事象	徐脈・房室ブロック等の伝導障害、うっ血性心不全	投与条件	-
理由・原因	相互に作用が増強	指示	注意

4. 薬剤名等：クロニジン塩酸塩

発現事象	投与中止後のリバウンド現象を増強	投与条件	-
理由・原因	β 受容体遮断薬を併用すると上昇したカテコラミンの作用のうち、 β 受容体刺激作用が遮断され、 α 受容体刺激作用だけが残る、急激な血圧上昇が起こる、クロニジン塩酸塩は $\alpha 2$ 受容体に選択的に作用し、ノルアドレナリンの遊離を抑制しているため、急激な中止によって血中カテコラミンの上昇が起こる、グアナベンズ酢酸塩も作用機序から同様な反応が予想	指示	注意

5. 薬剤名等：グアナベンズ酢酸塩

発現事象	投与中止後のリバウンド現象を増強	投与条件	-
理由・原因	β 受容体遮断薬を併用すると上昇したカテコラミンの作用のうち、 β 受容体刺激作用が遮断され、 α 受容体刺激作用だけが残る、急激な血圧上昇が起こる、クロニジン塩酸塩は $\alpha 2$ 受容体に選択的に作用し、ノルアドレナリンの遊離を抑制しているため、急激な中止によって血中カテコラミンの上昇が起こる、グアナベンズ酢酸塩も作用機序から同様な反応が予想	指示	注意

6. 薬剤名等：クラス1抗不整脈剤

発現事象	過度の心機能抑制	投与条件	-
理由・原因	相加的に心機能抑制作用を増強	指示	注意

7. 薬剤名等：ジギタリス製剤

発現事象	徐脈・房室ブロック等の伝導障害	投与条件	-
理由・原因	相加的に心刺激伝導抑制作用を増強	指示	注意

8. 薬剤名等：非ステロイド性抗炎症剤

発現事象	本剤の降圧作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	非ステロイド性抗炎症剤は、血管拡張作用を有するプロスタグランジンの合成・遊離を阻害	指示	注意

9. 薬剤名等：降圧作用を有する他の薬剤

発現事象	降圧作用が増強	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

